

10

No.534
OCT.2015

茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email info@ikk.or.jp

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協

CONTENTS

- 01 茨城県警察本部と「ニセ電話詐欺の撲滅に関する覚書」に調印
～働く世代からの撃退プロジェクトに協力～
- 02 委員会報告
労働企画／経営教育
- 03 支部だより
水戸／土浦・太田・つくば／取手・龍ヶ崎／支部合同
- 05 「2015会員増強運動」の状況
～会員数950社到達、年度目標を早期達成！！～
- 07 新入会員の紹介
- 09 役員力⑦<葛田一雄>
「星はすばる」
- 11 NPO情報Vol.180<横田能洋>
「常総市の復興に向けた取り組み」
- 12 セミナー・事業等のご案内

～働く世代からの撃退プロジェクトに協力～



当協会は、二セ電話詐欺被害の減少に貢献すべく、9月8日(火)、茨城県警察本部と「二セ電話詐欺の撲滅に関する覚書」に調印しました。

調印に先立ち、鈴木三男茨城県警察本部長より「県下の犯罪状況は、平成14年をピークに刑法犯認知件数は減少傾向となり、昨年はピーク時の半数以下となった一方、二セ電話詐欺の件数は多発しており、治安上の大きな課題である。二セ電話詐欺の被害額は、一昨年在約16億円、昨年在約14億円と依然として高く、また本年8月末現在の被害額もすでに7億円弱に達し、県民生活の大きな脅威といえる。二セ電話詐欺の被害者の大半は、高齢者で

あり、子供や孫の世代から両親や祖父母に対して被害に遭わないための働きかけを行うことが必要である。そうしたなか、今回、二セ電話詐欺撲滅に向け、『働く世代からの二セ電話詐欺

撃退プロジェクト』と称した取組みを経営者協会と連携し、推進していくことで、県民の抵抗力量向上に繋げていきたいと考える。経営者協会の会員企業の皆様には、本日の覚書締結を機に、日常の業務を通じて従業員への予防対策の教示や犯罪

情報の警察への通報等のご協力をお願いしたい」との挨拶がなされました。

続いて、鬼澤邦夫会長が「二セ電話詐欺の被害は依然として高水準にあり、その手口も多様化、巧妙化している。特に、二セ電話詐欺のターゲットになりやすい高齢者の方は、会員企業の従業員のご両親や祖父母の方々が該当することも想定されるので、従業員からの予防対策は自衛手段として有効なものと考えており、会員企業へのメルマガ発信や会合等で積極的に広報することで、被害の減少に結び付けていきたい」と挨拶を述べました。

経営者協会としても、被害防止を図るため会員事業所に対し、茨城県警からの情報を定期的に発信し、広報周知していきますので、ご協力の程宜しくお願ひします。

二セ電話詐欺の撲滅に関する覚書

一般社団法人茨城県経営者協会（以下「甲」という。）と茨城県警察本部（以下「乙」という。）は、次のとおり二セ電話詐欺の撲滅に関する覚書を締結する。

（目的）
第1条 甲及び乙は、連携のもと二セ電話詐欺被害防止ネットワークを構築し、二セ電話詐欺の撲滅を目指すことを目的とする。

（防犯情報等の提供）
第2条 乙は、甲に対し、二セ電話詐欺の発生状況等の情報その他県民の安全安心に関する情報をその都度提供する。
2 甲は、乙から提供を受けた情報を、被害防止を図ることを目的として、会員事業所に発信する。
3 甲又は甲の会員事業所は、日常の業務を通じて二セ電話詐欺の発生又はその前兆に関する情報を得た場合は、警察に対して通報する。

（協力事項）
第3条 甲は、業務の支障を生じない範囲で、会員事業所に対して次の活動等を行なうものとする。
(1) 二セ電話詐欺被害防止のためのアドバイス
(2) 事業所等施設内において、乙が提供した二セ電話詐欺被害防止に関するポスター等を掲示し、又はチラシ等を配付するなどの広報啓発活動
(3) その他必要と認められる事項

（協力要請）
第4条 甲は、二セ電話詐欺被害防止に有効と認められる業務又は活動に関しては、乙に対し、協力を求めることができる。

2 乙は、必要と認められる場合には、甲の二セ電話詐欺被害防止に関する業務又は活動に協力する。

（秘密の保持）
第5条 甲及び乙は、この規定の適用に際して知り得た個人情報を漏らしてはならない。

（協議）
第6条 この覚書に定めのない事項については、その都度甲又は乙が協議して定める。

附 則
1 この覚書は、締結の日から運用する。
2 この覚書の有効期限は、締結の日から起算して1年とし、甲及び乙のいずれも異議の申し出がない場合は、自動更新される。
3 この覚書の成立を証するため、本覚書2通を作成し、甲と乙が署名押印の上、各自1通を保有するものとする。

平成27年9月8日

甲 一般社団法人茨城県経営者協会
会長 鬼澤邦夫

乙 茨城県警察本部
本部長 鈴木三男

労働企画委員会

第5回若手の人事労務担当者のための勉強会・成果報告会を開催



労働企画委員会（委員長 館岡司氏（株）日立製作所電力システム社日立事業所副所長）は9月10日（木）、アサヒビール（株）茨城工場において、第5回目となる若手人事労務担当者のための勉強会を開催した。

本会合は、本年5月に全5回のスケジュールでスタートした勉強会の最終回であり、これまで取り組んできたグループワークの成果報告会が行われた。

メンバー23名が3グループに分かれ取り組んだグループワークのテーマは、「働き方改革を考える」。若手の人事労務担当者ならではの自由な発想で、自社の労務管理上の課題、

働き方を変える上で障害となっている事柄とは何か、如何にその課題を乗り越えるか、など活発な議論が交わされた。

成果報告会では、これまでの全4回の会合を通じ得られた知見をグループごとに「改革プラン」としてとりまとめ、プレゼンテーションを行った。各グループの発表に対しては、メンバー、労働企画委員から活発な質問が出された。

アドバイザーの安田尚道氏（常磐短期大学教授）が全5回を通じてのまとめを行い、最後に館岡労働企画委員長が講評を述べ、会を閉じた。

本勉強会は、テーマを変えて、次年度も開催の予定である。



尚、当日は本年度第1回目となる労働企画委員会が開催され、上期の事業活動の状況について報告がなされた。

【第6期若手の人事労務担当者の勉強会メンバー】

チームA：(株)NTT 東日本-南関東千葉事業部 茨城支店、(株)カスミ、山九(株)鹿島支店、鈴縫工業(株)、関彰商事(株)、日本メクトロン(株)、日立アプライアンス(株)、日立化成(株)新事業本部筑波総合研究所

チームB：(株)開倫塾、関東鉄道(株)、(株)ケーズホールディングス、新日鐵住金(株)鹿島製鐵所、大陽日酸東関東(株)、(株)富田製作所、日立化成(株)下館事業所、日立国分機器エンジニアリング(株)

チームC：アサヒビール(株)、茨城トヨタ自動車(株)、(株)茨城木材相互市場、(株)東京電機、(株)日立製作所インダストリアルプロダクツ社、日立電鉄交通サービス(株)、ヤマダイ(株)

労働企画委員会

筑波大学において学内企業説明会を開催

労働企画委員会（委員長 館岡司氏（株）日立製作所電力システム社日立事業所副所長）は、9月28日（月）、筑波大学において現4年生向け（2016年3月卒業予定者）の学内企業説明会を開催した。

多くが県内に本社を置く企業の参加ということもあり、県内に就職を希望する学生が多数各社のブースを訪問した。

参加した採用担当者の感想では「当社のブースに訪問された学生さんはとても熱心で、ぜひ採用したいと思った。訪問された学生さんは、これからも就職活動を継続されると思うので、当社を選んで頂けるようにこれからも積極的にアプローチして行きたい。筑波大学の学生さんと出会うきっかけをつくって頂き、有難かった」と

いった声も聞かれた。

次年度も会員企業の採用活動の支援を行う予定である。



経営教育委員会

平成27年度 第2回委員会を開催

経営教育委員会（委員長 植木誠氏（株）筑波銀行 代表取

締役副頭取）は、9月15日（火）、経営者協会会議室にて本年度

第2回目となる委員会を開催した。当日は、事務局含め15

名の委員出席のもと、27年度上期事業の報告と下期事業の具体化について協議された。

会議冒頭には、植木委員長より「今回の大雨災害の被害は多岐にわたり、本格復旧までには多くの時間を要すると感じる。我々、企業としてできることをしっかり取り組んでいくことが大切であり、今回の被災経験を今後の経営にも活かしていけるよう考えていかなければ

ならない」と挨拶があった後、協議へ移った。

※今後、同委員会にて予定されている下期研修です

事業名：接客プロフェッショナルセミナー（2回シリーズ）

テーマ：対人心理を理解し、真の行動を目指す
～全ての社会人へおくる心からのプロフ

講師：株式会社ヒューマン・ブレンディ代表取締役 田寺 尚子氏

日程：（第1回）平成27年11月13日（金）10:00～16:00

：（第2回）平成27年11月27日（金）10:00～16:00

ところ：茨城県産業会館（水戸市桜川2-2-35）

支部だより

OCT. 2015

Branch office report

水戸地区支部

平成27年度水戸地区支部総会を開催

水戸地区支部(支部長 西村寛氏(株)水戸京成百貨店代表取締役社長)は、9月11日(金)、水戸京成ホテルにおいて、平成27年度水戸地区支部総会を開催した。(104名が参加)

開会にあたり、西村支部長より「今年度も鬼澤会長を中心に会員増強に積極的に取り組んでいるなか、水戸地区支部でも15社(9月11日現在)ご入会いただいた。会員増強や組織力強化のため、更なるご協力をお願いしたい。また、本日は佐野慈紀氏(元プロ野球選手)をお招きし、「リーダーの条件～一流

の選手から学んだこと～」をテーマにご講演をいただくので、皆様にも経営に繋がるものと期待している」との挨拶があった。

続いて、本年度新入会員の紹介が行われた後、経営者協会・水戸地区支部活動についての報告がなされ、総会は終了した。

講演会では、佐野慈紀氏(元プロ野球選手)をお招きし、組織におけるリーダーのあり方、人材育成手法等について講義いただいた。参加者からも「プロフェッショナルの思考、行動を学び参考になった」「部下に

対する接し方を変え、部下のモチベーション向上を実践したい」との意見が寄せられ、有意義な場となった。

その後の交流パーティには、講師の佐野慈紀氏にも参加いただき、懇親を深め散会した。



土浦・石岡・つくば地区支部



土浦・石岡・つくば地区支部(支部長 本井正氏 日立建機(株)執行役開発・生産統括本部副本部長)の人事労務研究会は9月25日(金)、L' AUBE

Kasumigaura(土浦市)において平成27年度総会ならびに第1回情報交換を開催した。

総会においては、26年度活動報告ならびに27年度活動計画案について協議を行い、原案通り了承された。

年4回の活動計画(情報交換のテーマ)は、第1回、9月25日開催、情報交換テーマ「各社のストレスチェック体制の進捗状況と課題」、第2回、11月19日開催予定、情報交換テーマ「各社のマイナンバー制度に

伴う対応と課題」、第3回、平成28年1月開催予定、情報交換テーマ「各社の人材育成、早期離職防止策について」、第4回、平成28年2月開催予定、情報交換テーマ「人事労務担当としてのパワハラ・セクハラへの対応事例」、に決まった。

総会後は、齋藤金融・年金・労務相談事務所所長の齋藤敬徳氏から「2015年12月施行、ストレスチェック義務化に伴う実務対応」をテーマにご講演頂いた。

取手・龍ヶ崎地区支部(支部長 小早川忠氏 キリンビール(株)取手工場長)の紫峰会(代表幹事 佐藤俊之氏 (株)小森コーポレーションつくばプラント 勤務部長)は、9月25日(金)、オカモト(株)茨城工場において、平成27年度の総会を開催した。

当日は、第1号議案「平成26年度事業活動報告および収支決算報告」、第2号議案「平成27年度事業活動計画案および収支予算案」、第3号議案「平成27年度役員案」が上程され、議案説明の後、満場一致で承認された。

本年度の代表幹事には、園部浩美氏(オカモト(株)茨城工場総務人事課長)が就任。幹事には、高橋清氏(アサヒビール(株)茨城工場 総務部長)、鷹取秀明氏(キヤノン(株)取手事業所 人事課長)の2名が就任した。

総会終了後には、「常総市の水害対策～被災者への対応等～」および「2015年12月1日施行“ストレスチェック制度”への対策と課題について」情報を交わした。

◆紫峰会メンバー募集のご案内
人事労務担当者会議(通称・

紫峰会)は、取手・龍ヶ崎地区支部エリアの会員制による人事労務分野での生の情報交換会、相互啓発、企業見学及び懇親会などの事業活動を行っております。人事労務問題に対する企業の対応策や、日常の問題解決に向けたヒントを得られる場としてご活用いただけるかと存じますので事業活動の内容など、興味のある方は下記までお問合せください。

・Tel : 029-221-5301、

E-mail : usui@ikk.or.jp

・一般社団法人茨城県経営者協会 薄井

支部合同による視察会を開催

東京証券取引所、日経東京製作センター、パナソニック植物工場を視察



例年恒例となる支部合同による視察会が9月24日(木)に開催され、(株)東京証券取引所、(株)日経東京製作センター、(株)パナソニック植物工場の3ヶ所を視察した。

最初に訪れた(株)東京証券取引所では、始めに同社の歴史などについて伺った後、マーケット・センターを中心に視察した。同社は、(株)日本取引所グループの子会社で、日本最大の金融商品取引所。金融商品取引法に基づく金融商品取引所の免許を受け、日本において金融商品市場を運営。具体的には、有価証券の売買を行うための市場施設の提供、相場の公表及び有価証券の売買等の公正の確保、その他の取引所金融商

品市場の開設に係る業務などを行っている。また、ニューヨーク証券取引所やロンドン証券取引所などと共に、世界経済の中核としての役目を担っている。

続いて訪れた(株)日経東京製作センターでは、始めに日経新聞ができるまでの製版・印刷・発送等の工程を映像で観た後、実際に日経新聞等ができるまでの工程を視察した。同社は、日本経済新聞社の100%子会社。48頁一連印刷・24ヵ面カラーが可能な新聞輪転機により、日経新聞の各紙媒体を印刷。1日の印刷部数は100万部を超え、その紙面品質は高い評価を得ている。日本経済新聞社の中核工場として培ってきた技術を基に、自治体広報紙の受注印刷や、本年7月に日本経済新聞社が買収を発表した世界有数の経済紙フィナンシャル・タイムズ(FT)紙の日本国内分も印刷している。

続いて訪れた(株)パソ

ナ植物工場では、自然との共生をコンセプトに環境に配慮した様々な取組みを伺いながら、同社のオフィス内に野菜や果物などを栽培している施設を視察した。同社は、自然との共生をテーマに「社員の健康」「農業」「環境(エコ)」を考えた新しいオフィスであり、農業経営人材育成や農業経営コンサルティングに加えて、農産物の生産や加工品の企画開発、販路開拓のサポート事業を実施。また、農業人材の派遣・紹介などの人材サービスを含めた幅広い農業関連事業を通じて第6次産業化を推進し、農業振興と地域活性化に貢献している。

パナソニック植物工場視察後には、希望者のみプロ野球(巨人v広島)を観戦し散会した。



『2015 会員増強運動』の状況

会員数 950 社到達、年度目標を早期達成！！

1. 9月の状況

9月は、役員・委員の皆様からのご紹介により、入会6社・退会2社、前月比プラス4社の実績（前年度比52社の増加）となり、年度目標の950社に到達することができました。

会員の皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

2. 『2015会員増強運動』について

会員の状況（9月30日現在）

項目 \ 支部	県北	日立	常陸・那珂	水戸	土浦・石岡 つくば	取手・ 龍ヶ崎	県西	古河・坂東	鹿行	合計
26年度末会員数	39	94	80	259	133	66	71	53	103	898
入会数	1	7	10	17	22	2	1	2	2	64
退会数		1	2		1		3	1	2	12
会員数	40	100	88	274	154	68	69	54	103	950
								前年度比		52

平成27年度目標

950

目標比

0

平成27年度は、協会の事業運営の指針であります「第7次中期運営要綱」の2年目として、運営要綱に掲げております『会員数1,000社（29年7月：創立70周年）』に向けての足固めとして、年度目標950社とした「2015会員増強運動」を展開してきましたが、6ヶ月前倒し、中間時点で目標を達成することができました。

今年度は新入会員をご紹介いただき入会いただいた際の特典として、ご紹介いただいた会員企業様向けに「交流懇親会への無料ご招待」を行っておりますが、多くの会員企業様が対象になられております。改めて、この場を以ってご協力に感謝申し上げます。

下半期は、更なる会員の皆様の相互啓発や交流活性化に向け、また政策提言力の強化を図るために『会員数1,000社』を前倒しで達成できるよう、会員増強運動を継続してまいります。

つきましては、会員の皆様におかれましては、当協会にご入会いただけそうなお知り合いなどがいらっしゃいましたら、1社からで結構ですので、是非お誘いいただき、右ページの「紹介票」にて事務局までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

※FAXのほか必要事項をご記載いただければ電子メールでも結構です。

メールアドレス：info@ikk.or.jp

【2015 会員増強運動】 入会見込先 紹介票

茨城県経営者協会 行き

FAX : 029-224-1109

御社名	
役職氏名	
TEL	

“2015 会員増強運動” の入会見込先として、下記のとおりご紹介致します。

【入会見込先の情報】

No.	会社名	電話番号	先方担当者（役職氏名）	連絡方法（○印）
1			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
2			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
3			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
4			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
5			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由

【備考】

※恐縮ですが、コピー、ご記入の上、FAXくださいますようお願いいたします。

新入会員紹介

有限会社エスワイ・エステート

■代表取締役 柳田隆志



Data
所在地／古河市西牛谷1221
T E L 0280-31-0651
F A X 0280-31-0689
業 種／不動産管理、
フットサル場経営
従業員／5名

Appeal point

弊社の主な事業は、賃貸住宅・店舗（東京都品川区、茨城県古河市）の管理運営、フットサル場の経営等です。

特にフットサル場につきましては、御陰様で今年で設立10周年を迎えることができました。大変有り難いことに、お子様達から年配の方々まで、幅広い年代の方々にご利用いただいております。

今後もより一層、地域に愛されるフットサル場を目指して参りたいと存じます。

黒崎播磨株式会社 第二営業部 鹿島支店

■執行役員 鹿島支店長 芳山純一郎



Data
所在地／鹿嶋市光3番地
新日鐵住金株式会社
鹿島製鐵所構内
T E L 0299-82-0663
F A X 0299-90-3014
業 種／製鉄用耐火物製造販売
従業員／14名

Appeal point

弊社は大正8年の創業以来、耐火物の製造および販売を通し、一貫して鉄鋼業をはじめとする日本の基幹産業を支える役割を担ってまいりました。

また、耐火物で培った材料技術をもとにしたファインセラミックス事業、快適で美しい生活空間をご提案する生活空間セラミックス事業を展開するなど、セラミックスの様々な可能性にも挑戦をしております。

創業100年を間近に控え、さらに挑戦を続けてまいります。

公益財団法人産業雇用安定センター 茨城事務所

■所長 一間秀夫



Data
所在地／水戸市城南1-1-6
(サザン水戸ビル4F)
T E L 029-231-6044
F A X 029-233-3602
業 種／無料職業紹介機関
従業員／8名

Appeal point

昭和62年、経済・産業団体と労働省(現・厚生労働省)の協力で設立された、無料で職業紹介を実施している公益財団法人です。

人材を必要としている企業の皆様へ、最適な人材情報を提供し紹介をいたします。また、雇用調整を実施される企業の皆様へ、退職される従業員の再就職先をご紹介いたします。

更に、各種セミナーを企画・開催し、活力ある職場づくりのお手伝いもいたしております。

皆様方のご期待・ご要望に応えるべく努めて参りますので、どうか宜しく願いたします。

常磐地下工業株式会社

■代表取締役 伊藤美智子



Data 所在地／日立市白銀町2丁目24-11
T E L 0294-22-8196
F A X 0294-22-9852
業 種／盤調査全般、さく井工事、
地盤改良・とび・土工
従業員／男子 5名 女子 2名
計7名

Apparel point

昭和38年9月創業以来50余年地質調査の専門会社として、常に顧客第一、地元密着をして営業を続けて参りました。

今後もその理念は変わる事無く、又、異業種の方々との交流の中で次世代へ繋げて行きたいと願っております。

ぜひよろしくお願いを申し上げます。

株式会社 鈴木ハーブ研究所

■代表取締役 鈴木 さちよ



Data 所在地／那珂郡東海村村松2461
T E L 029-219-7756
F A X 029-282-3112
業 種／小売業
従業員／19名

Apparel point

弊社は、赤ちゃんであった娘のアトピー性疾患で肌の悩みを抱えたことがきっかけで創業した基礎化粧品会社です。ハーブサイエンスの力で人間が本来有している自然治癒力を活性する製品を研究開発し、通信販売を中心に日本全国にオリジナル商品を販売しております。自然の恵みである天然成分の優れた力を最大限に取り入れ、自分の肌力を育み自分らしい幸せな毎日を送っていただくための、お肌のサポートをさせていただいております。

株式会社スマイル本田

■代表取締役社長 丸山治夫



Data 所在地／土浦市中村南4-11-12
T E L 029-843-7701
F A X 029-842-9920
業 種／建設業
従業員／380名

Apparel point

弊社は、ホームセンタージョイフル本田を親会社とし、住まいの増改築工事のご提案を行っております。お客様自身が、来て・見て・触って・実感できる大型ショールームを関東一円に12店舗展開し、それぞれの地域で一番の信用を得ることを目指して取り組んできました。

少子高齢化の進む社会背景の中で、これまでの住まい（財産）をリフォーム工事により新たな資産へ昇華させるお手伝いの中から、より一層地域の皆様に喜んでいただけるよう努めて参ります。

星はすばる

k2 マネジメント代表取締役 葛田 一雄

音楽家吉田正は、多賀郡高鈴村（現在の日立市）で生まれた。国民栄誉賞を受賞した日本の音楽界を代表する作曲家である。戦後の混乱期、人々の心を癒し、明日へと希望を紡ぐ音楽が吉田メロディーであった。詩人野口雨情は、茨城県多賀郡磯原町（現在の北茨城市）に生まれた。北原白秋、西條八十とともに日本三大童謡詩人である。「船頭小唄」（中山晋平作曲、原題「枯れすすき」）が一世を風靡し、「七つの子」「赤い靴」「あの町この町」など多くの童謡を創作した。国民的歌手坂本九は、母の実家が笠間市にあり、戦争中の疎開先でもあった。

1. ヨナ抜き音階や二口抜き音階もある

ヨナ抜き音階は、「四七抜き音階」とも表記する。西洋音楽の長音階に合わせると主音（ド）から数えて四つ目のファと七つ目のシがない、【ドレミソラ】音階である。雅楽の呂旋法に合致し、ピアノの黒鍵部分の5音に相当する。

日本の童歌や民謡のうち、陽旋法のものにはヨナ抜き長音階と同じ音階が多い。唱歌には、外国の曲に詞をつけたものもかなりあるが、「螢の光」や「故郷の空」は、スコットランドの民謡であり、ヨナ抜き長音階である。

演歌にもヨナ抜き音階が多い。「北国の春」、「夢追い酒」、「箱根八里の半次郎」などヨナ抜き音階である。坂本九の「上を向いて歩こう」も「昴」（谷村新司）もヨナ抜き音階である。

二口抜き音階は「二六抜き音階」とも表記する。二口抜き短音階を西洋音楽の短音階に合わせると主音（ラ）から二つ目のシと六つ目のファがない音階である。「リンゴ追分」、「達者でナ」、「津軽平野」など民謡調演歌には二口抜き短音階のものがある。「島唄」（THE BOOM）も二口抜き長音階による楽曲である。

2. Possible であれ、しかし…

役員は結果責任が問われる。結果を出すためには Possible な行動が必要であり、結果責任が問われるあまりに Negative な管理に陥ることを自戒しなければならない。しかしながら Possible といってもことごとく陣頭指揮では具合が悪い。経営組織体づくりの要諦は、柔軟な組織づくりの構築である。柔軟な組織づくりには3つのことが求められる。1つは、外部環境に対応した組織活動の適応力を向上する。2つは、企業活動を効率化することができる組織をつくる。3つは、組織目標と個人目標の統合を高めることができる組織管理体

制をつくる。

役員には、社員の能力向上に依りて、仕事の重要性を認識させる役割がある。さらには、広い範囲、難易度が高い仕事に参画させ、強い責任感を抱かせる経営管理が必要である。

働き蟻の行動は、3:4:3として知られている。専ら働いているのが3割、働いたりさぼったりしている身勝手なものが4割、残りの3割はまったく働かないぶら下がりである。ところが、全く働いていない3割を取り出し、動きを観察すると、母集団の3:4:3と同じ比率になるそうだ。3:4:3は、祭りの神輿を担ぐ若衆の担ぎ方とも符合するし、社員の貢献度合も同様な比率と考えられている。

ぶら下がりの3割の社員をやる気にすることができるのか。ぶら下がり社員を主体とした組織を作り出すことで変革できるかも知れないが保証はない。それよりも、働いたりやらなかったりの4割の社員に目を向けたい。やる気を出させるためには対象者をその気にさせる必要がある。その気とは、行動に駆り立てることをいう。その気にさせるための要諦は褒めることである。

褒めるとは、評価し、その気持ちを表すことをいう。評価

とは、善悪、美醜、優劣などの価値を判じ定めることである。役員の評価軸が狂っていると、褒めたり、褒めなかつたりということになりがちであるし、その結果、社員のやる気が削がれる。

3. してはならないことがある

役員は社員を無暗矢鱈に叱ってはならない。叱るとは、「然るうえは」に本質がある。「然るうえ」とは、そういうことであるからにはということである。そういうことであるのに、それなのに、力を尽くしたこと少なからず、という前提なくして叱ってはならない。声を荒立てて欠点をとがめるなどというのは感情が勝ただけのことであり、その気にさせることとは程遠い。

役員には、三戒がある。一つは、しなければいけないことはしなければならぬ。二つは、見て見ぬふりをしてはならない。三つは、してはならないことはしてはならない。役員自らは三戒、役員として社員にさせてはならないことがある。それは、以下の七禁である。

①虚偽も虚偽と思われること

真実でないこと、あるいは、真実のように見せかけること、そらごとである。

②隠ぺいも隠ぺいしていると思われること

目につかないように覆い隠すことである。

③改ざんすること

改竄と書く。竄とは改めかえる意味であるが、不当に改める場合に用いられる。

④無断使用すること

承諾を得ないことが無断、相手の承諾なしに使ってしまうことが無断使用である。無断には、決断心のないことあるいは優柔不断という意味もある。

⑤なりすますこと

成り済ましと書き、すっかりそのものになってしまうこと、騙しの手口である。

⑥不埒な振る舞いをする

挙動、特に人目につくような行動が振る舞いであり、度を越えた馳走や饗応などは不埒な振る舞いである。

⑦権利を濫用すること

権利とは一定の利益を主張し、これを享受する手段として、法律が一定の者に賦与する力である。通常は、ある事をする、またはしないことができる能力を権利という。

濫用とは、みだりに用いることである。権利濫用の身近な例として、セクハラ、パワハラおよびモラハラ（倫理に悖ること）がある。

4. 大切なものは目に見えない

経営管理と音階を同列に論じるつもりはないが、音階は経営管理の戒律になる。そもそも西洋音楽の長音階だけが音楽ではない。ヨナ抜き音階や二口抜き音階も音楽である。役員が長音階のスコア（楽譜）で指揮し、社員がヨナ抜き音階や二口抜き音階を奏でているようでは楽曲としては成り立たない。笛吹けども踊らずでは具合が悪い。

長音階が格好良いわけではないし、Possibleな表現法であるとは断定できない。ヨナ抜き音階や二口抜き音階が格好悪く、Negativeな表現法であるとは言い切れない。役員は社員に長音階だけを強要してはならない。用いるなら用いるだけの根拠が必要であるし、用いることに対する説明責任を果たさなければいけない。

太陽の強烈な光線で熱中症になることもある。月の光に癒されることもある。野口雨情作船頭小唄の音階が社員の心情に合致することもある。

枯れた真菰(まこも)に 照らしてる 潮来(いたこ)出島(でじま)の お月さん わたしから 利根川の 船の船頭で 暮らすのよ

2011年3月11日(金)14時46分、太平洋三陸沖を震源として東北地方太平洋沖地震が発生した。震災後、多くの人々の心を癒した歌が1985年8月12日に発生した日本航空123便墜落事故の犠牲者である坂本九の「上を向いて歩こう」であった。

涙がこぼれないように上を向いて歩こう

うつむくな。いかにもふさぎこんでいるような様子を見せないようにしようよ。

清少納言は、「星はすばる」(枕草子)と讃えた。昴は、動詞の「統(す)ばる」に由来し、「六連星(むつらぼし)」の異名があるとおりの多くの星の集まりである。

目を閉じて何も見えず 哀しくて目を開ければ 荒野に向かう道より 他に見えるものはなし

キツネには、「大切なものは目に見えないんだよ」(星の王子さま アントワーヌ・ド・サン・テグジュペリ)となるらしいが、目を閉じて何も見えないことは哀しくもある。

役員には、社員の心を和ませる役割も社員に生きる喜びと希望のために行動させる役割もある。役員は、事業や仕事を通じて、社員に夢、光り、輝きを示さなければならない。

昴は、オリオン座をしたがえた六連星である。役員は、社員のモデルパーソンとして行動する「統(す)ばる」である。

常総市の復興に向けた取り組み

茨城NPOセンター・コモンズ常務理事 横田 能洋

今回は9月10日におきた常総市の水害とその後のコモンズの取り組みを報告します。

10日の夕方、常総市の鬼怒川東側はほぼ全域が水没しました。午後1時に鬼怒川堤防決壊の報をきき、水がくると思い森下町にある自宅の玄関に土嚢をつんでいたら、すぐ近くの道路の下から水があふれ水に囲まれてしまいました。別の川の水位があがり雨水溝から逆流してあふれたためです。周辺住民は一夜にして車と1階が水没しました。私の自宅は幸い床下でしたが、となりの妻の実家は床上浸水、事務所も1メートル浸水しました、車3台と5年間かけて集めた外国人支援に関する資料や児童向けの教材がすべて廃棄処分になりました。しかし、途方に暮れているわけにはいきません。発災から3、4日間は市内には車が入れなかったため、家族をボートで避難させた後、自宅に留まり市内の状況をメールで全国のNPO関係者に発信しつづけました。その結果、各地の支援センター関係者が応援にきてくれることになり、16日に常総事務所は「たすけあいセンター juntos（ポルトガル語で「いっしょに」の意味）として再出発できました。現在は、財団の支援で得た高圧洗浄機や軽トラックなどを住民に貸し出したり、ボランティアコーディネートをしています。もと

もと日系ブラジル人の子どもの学習支援をしていたので、情報格差を防ぐため多言語の情報紙を毎日発行したり、大事な情報を多言語で収録し災害FMなど流しています。

災害から20日が過ぎ、多くの家は1階にあった家具などを外に出し、道路にあふれていたゴミが徐々に減ってきました。しかし、こどもが遊んでいた公園はまだゴミの山です。1階の床や壁を直すまでは1階には住めず風呂にも入れない、料理もつくれないうちの家が多くあります。避難所が街からはなれた施設に統合され、通学や通勤、家の片づけがある人はカビの匂いがする不自由な自宅にもどらざるを得なかったのです。避難所の人数やまちのゴミが減り、避難指示も解除され、常総市は回復してきたようにみられがちですが、実態はますます深刻化しています。メディア報道が減りボランティアも激減しました。持ち家であれば57万円ほど応急修理費が行政からでますが、火災保険の対象にならない方が多く、到底その金額ではたりません。特に設備を失った自営業者の被害は甚大です。避難所では連日炊き出しが行われていますが、在宅避難の人は温かい食事や野菜が食べられない日が続いています。避難所も市外と市内で食事の提供や居住環境の差が大きく、それらの改善

のために連日、市とNPOで協議をしています。市役所自体が浸水し電源喪失したため、あらゆるサービスが機能不全に陥っており、市の職員も疲れがたまっています。もとの生活にもどるには1年以上かかるでしょう。一番つらいのは、1夜にして資産を失い今後の家の修復や家計再建の見込みが立たず疲労の蓄積と喪失感で言葉もでない心境が被災地以外の人はなかなか理解してもらえないことです。個人の努力ではどうにもならない方が大勢います。義援金やボランティア、寄付で被災した住民の生活再建や地元事業者の再建を支援し、励ましてほしいと思います。コモンズは、送迎サービスや在宅避難者の食住の支援や生活相談など現地で本当に必要な活動を起こしたり、支援が届かない方に支援を届け、行政と災害支援の専門組織をつなぐ活動を住民と協力して行っています。本当につらい状況ですが、日ごろ接点がなかった人同士が「いっしょに juntos」助け合うチャンスだと思って活動していきます。どうか、いばらき未来基金を通じてたご寄付やボランティア、情報提供にご協力をお願いします。

コモンズのWEB

<http://www.npocommons.org>

セミナー・事業等のご案内

＝詳細は、事務局までお問合せください＝

セミナー名	日 時	テーマ・内容	講 師	会 場
第5回ヒューマンエラー防止セミナー	10月23日(金) 9:30～17:00 7,000円	錯覚や行動を把握し、重大事故を防ぐポイント	関西大学社会安全学部社会安全研究科教授 中村隆宏氏	三の丸ホテル
経理セミナー(応用編)	10月21日(水) 9:00～16:30 8,000円	簡単にわかる！決算書の見方・読み方	財務リスク研究所(株)代表取締役 横山悟一氏	茨城県産業会館
接客プロフェッショナルセミナー	①11月13日(金) ②11月27日(金) 10:00～16:00 全講 14,000円 単講 8,000円	①おもてなしマインドと接客プロとしての行動 ②自己理解、心と仕事のマネジメント	(株)ヒューマン・ブレンディ代表取締役 田寺尚子氏	茨城県産業会館

問合せ 一般社団法人 茨城県経営者協会
〒310-0801 水戸市桜川2丁目2番35号 茨城県産業会館11階
TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109
ホームページ <http://www.ikk.or.jp> Eメール info@ikk.or.jp


県北・県央ブロック合同経営者懇談会開催のご案内

- 主催 県北地区支部、日立地区支部、常陸・那珂地区支部、水戸地区支部
 日時 平成27年11月5日(木)14:00~18:10
 会場 ホテル天地閣(日立市旭町2-6-13)
 次第 (スケジュール)
 14:00 開会(受付開始13:30~)
 主催者代表挨拶、会長挨拶、協会事業報告等
 14:40 記念講演会 演題:「リーダーであるべき姿 ~人を導く情熱が人を育てる~」(仮題)
 講師:サッカー解説者 サガン鳥栖、川崎フロンターレ 元監督 松本 育夫 氏
 16:10 講演会終了
 16:20 小グループでの意見交換 ※お名刺を多めにご用意下さい。
 17:10 交流パーティ (パーティご出席の方のみ参加費5,000円を頂戴致します)
 18:10 閉会

■松本講師プロフィール

1941年宇都宮市生まれ。早稲田大学1年生より9年間、全日本代表を務める。指導者として東洋工業(現・マツダ株式会社)監督、全日本ユース代表チーム監督、全日本ジュニア代表チーム監督、全日本代表チームコーチを歴任。96年マツダを退社後は、同年8月から99年1月までJリーグ・株式会社京都パープルサンガ・チーム統括ゼネラルマネージャーを務める。99年4月Jリーグ・川崎フロンターレ監督に就任。J2優勝、J1昇格。2000年1月、富士通川崎スポーツ・マネジメント株式会社代表取締役社長に就任。その後、04年から06年までサガン鳥栖監督を、2011年までサガン鳥栖専務執行役員ゼネラルマネージャーを務めた。

お申込は経営者協会HPより <http://www.ikk.or.jp/>




「ともに、いきる」を実現する大学
茨城キリスト教大学

文学部	生活科学部	看護学部
文化交際学科	心理福祉学科	看護学科
現代英語学科	食物健康科学科	経営学部
児童教育学科児童教育専攻		経営学科
児童教育学科幼児保育専攻		



携帯から簡単アクセス▲

〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1 JR常磐線大妻(おおみか)駅隣接
<http://www.icc.ac.jp/>  <http://www.icc.ac.jp/m/>



心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ

Sienta



シエンタ

茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851
 TEL 0120-090110
<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。

そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。

地域エリアの皆様とともに、

未来に向かって力強く前進いたします。



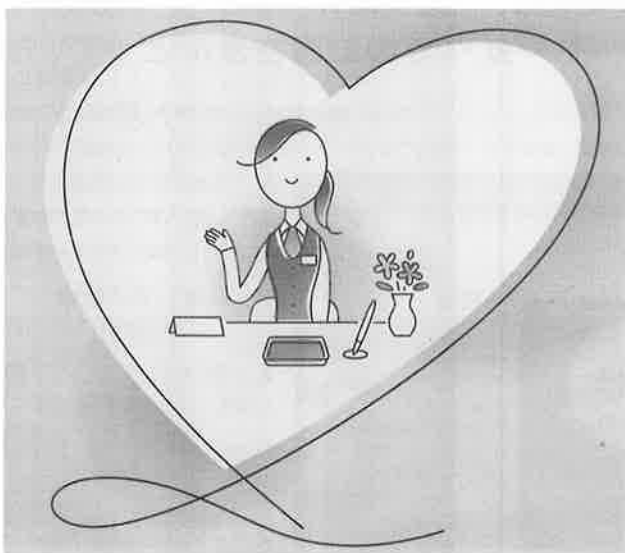
筑波銀行は地域復興支援プロジェクト「あゆみ」に取り組んでいます。



<http://www.tsukubabank.co.jp>

 筑波銀行
Tsukuba Bank

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。

ベストパートナーバンク



経営労務相談(無料)のご案内

当協会では経営労務相談の機能を強化し、会員企業様が抱える経営課題の解決に向けたサポート体制を整えております。

協会の顧問弁護士、社会保険労務士、税理士、経営コンサルタント等の各分野のエキスパートが様々な経営課題の解決に向けたアドバイスを致します。

開催日 毎週木曜日 ①10:00~12:00
(祝日は除く) ②14:00~16:00

会場 経営者協会・相談室
(水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F) 水戸駅南口より徒歩5分。

申込方法 下記TEL・FAXまたはE-mailにて各開催日の2日前までにお申込み下さい。

Flow chart

- 賃金関係** 未払い残業代を請求されたがどのように対応すればよいのか?
- 労働組合** 従業員の一人が加盟した労働組合から団体交渉を申し入れられた。交渉にどのように向かえばよいのか?
- 助成金制度** 人員整理を回避するためにはどのような方法があるのか? 活用できる助成金制度について教えて欲しい。
- 人事労務** 人事制度の変更を行うとしたが、従業員から不利益変更ではないかと訴えがあった。
- 精神疾病** メンタル不全の従業員がトラブルを起こしたがどのように対応すべきか?
- その他** 事業承継の問題、資金繰りの問題、経営に関することの課題全般の悩みについて。

人事労務相談室
が総合窓口
(ワンストップ)

課題解決に最適な専門家を紹介



お問い合わせ:一般社団法人茨城県経営者協会 事務局(後藤)
TEL:029-221-5301 FAX:029-224-1109
E-mail gotou@ikk.or.jp